

原子力被災 12 市町村における農業者個別訪問活動結果概要

令和 2 年 1 月 1 7 日
福島相双復興官民合同チーム
営農再開グループ

福島相双復興官民合同チーム営農再開グループ¹では、平成 29 年 4 月より被災農業者への個別訪問に取り組んでいます。令和元年 12 月 31 日までの 2 年 9 か月の概要について、下記のとおり取りまとめました。

I. 訪問結果の概要

平成 29 年 4 月から令和元年 12 月までの延べ訪問件数（再訪問を含む）は、4,755 件（平成 29 年 1,265 件、平成 30 年 1,751 件、令和元年 1,739 件）である。

実際に訪問した農業者数は、1,774 者（平成 29 年 1,012 者、平成 30 年 417 者、令和元年 345 者）である。延べ訪問件数と農業者訪問数の差は再訪問であるが、年とともに営農再開支援を目的とした再訪問の件数が増加している。

令和元年末までに訪問した農業者 1,774 者の営農再開状況等については以下のとおりであった。

なお、値については令和元年 12 月末時点での農業者の回答を合計したものであり、初回訪問以降に当該農業者の状況に変化があった場合、その変化を反映したものである。

1 営農再開状況及び意向 [令和元年末までに訪問した 1,774 者に対する値]

再開済の農業者は 518 者[29%]、今後再開意向の農業者は 247 者[14%]であり、合計で 765 者[43%]であった。一方、再開意向のない農業者は 766 者[43%]、再開未定の農業者は 243 者[14%]であった。

なお、訪問した農業者のうち、再開済の割合が高まっている（平成 29 年 22%、平成 30 年 26%、令和元年 40%）。これは、後述する地域・集落単位での営農の再開、販路の拡大等への取組を強化したため、再開済の農業者を訪問する機会が増加したことによるものである。

2 営農再開済の農業者の課題等 [令和元年末までに再開済の 518 者に対する値]

- ① 販売目的の農業者は 469 者[91%]、自給目的の農業者は 42 者[8%]であった。
- ② 農業者が抱える主な課題（最大 3 つまで回答）は、「農業機械・施設・家畜・新規作物等の導入」が 189 者[36%]と最も多く、次いで「販路や販売単価の確保」が 105 者[20%]、「労働力の確保」が 92 者[18%]であった。

1 営農再開グループは、東北農政局、福島県及び公益社団法人福島相双復興推進機構で構成されており、これら 3 機関が連携して農業者訪問活動と支援の取組を実施している。

3 営農再開の意向はあるが未再開の農業者の課題等

[令和元年末までに営農再開意向のある 247 者に対する値]

- ① 販売目的の農業者は 209 者[85%]、自給目的の農業者は 26 者[11%]であった。
- ② 農業者が抱える主な課題（最大 3 つまで回答）は、「野生鳥獣の被害防止対策」が 92 者[37%]、「用排水路復旧」が 79 者[32%]と多く、次いで「農地・草地除染等」が 45 者[18%]、「土づくり等」が 37 者[15%]、「耕起・深耕・整地」が 35 者[14%]であった。

4 再開意向がない・未定の農業者の状況

[令和元年末までに再開意向がない、未定の 1,009 者に対する値]

- ① 意向がない・未定の主な理由は、「帰還しない」が 396 者[39%]、「高齢化や地域の労働力不足」が 384 者[38%]と多く、次いで「機械・施設等の未整備」が 190 者[19%]、「農地の確保が困難」が 97 者[10%]であった。
- ② 被雇用等により農業に従事する意向の農業者は 98 者[10%]で、従事しない者は 873 者[87%]であった。
- ③ 一方、草刈りや用水路の清掃等の地域共同作業へ参加する意向のある者は 307 者[30%]であった。
- ④ 既に農地の出し手となっている農業者は 85 者[8%]、今後出し手となる意向のある農業者は 739 者[73%]であった。

5 集落営農への参画意向 [令和元年末までに訪問した 1,774 者に対する値]

既に集落営農に参画している農業者は 167 者[9%]、参画する意向のある農業者は 340 者[19%]、参画する意向がない農業者は 895 者[50%]であった。

II. 訪問活動を通じた実績

被災 12 市町村の農業者への訪問が営農再開の具体的な成果に結びつくよう、以下の取組を行った。

1 地域・集落単位での営農の再開

いくつかの市町村では、営農再開が進展するよう、作付けされる農地の拡大に向けて、農地を貸したい所有者と農地を借りたい担い手をマッチングさせるため、農地の所有者に対するアンケートや集落単位での座談会を実施している。

営農再開グループでは、平成 30 年から、田村市、檜葉町、富岡町、浪江町、葛尾村等の市町村で以下の通り参画した。

- ① 平成 30 年
 - ア 集落座談会への参加 29 回
 - イ アンケート回収への協力（未回答者への訪問等） 153 者
 - ウ 農地のマッチングへの協力 会議出席 30 回

② 令和元年

- ア 集落座談会への参加 28回
- イ アンケート回収への協力（未回答者への訪問等） 150者
- ウ 農地のマッチングへの協力 会議出席49回

特に、檜葉町では、平成30年に58haであった水稻作付面積を、令和元年には160haに拡大する目標を掲げ取り組んできた。町や関係機関が連携した取組の結果、目標を上回る175haまで拡大したが、営農再開グループも上記の取組を通してその一端を担うことができた。

また、令和元年には、檜葉町の取組を通じて得られた知見を踏まえ、富岡町、浪江町及び葛尾村において、活動を展開した。

2 販路の拡大

訪問の結果、「販路や販売単価の確保」に課題があるとの回答があった農業者に対する支援として、延べ74件（宅配企画31件、事業者マッチング25件、専門家による支援18件）の販路確保支援を行った。

① 宅配企画

農業者が収穫した野菜、果実等を段ボールに詰め、飲食店（都内を中心）又は個人顧客に直送する仕組みを構築した。支援農業者は延べ31者となった。

この31者による出荷実績は554件となっている。

② 事業者マッチング

農業者に対して、地元事業者（スーパーの地産地消コーナー、直売所、飲食店）を紹介した。マッチング件数は延べ25件となった。

③ 専門家による支援

将来的な収穫量の増加を見越した県内外の事業者との直接取引や、希望する価格での販売等を実現するため、専門家による販路開拓を延べ18件実施した。

I. 訪問結果の概要

1 営農再開状況及び意向

	初回訪問時の集計値						累積合計 ※2	
	令和元年 ※1		平成30年 ※1		平成29年 ※1			
	者数	割合	者数	割合	者数	割合	者数	割合
再開済 (1)	137 者	40%	107 者	26%	218 者	22%	518 者	29%
未再開 (内訳)	208 者	60%	310 者	74%	794 者	78%	1,256 者	71%
再開意向あり (2)	49 者	14%	46 者	11%	194 者	19%	247 者	14%
再開意向なし	117 者	34%	205 者	49%	429 者	42%	766 者	43%
再開意向不明	42 者	12%	59 者	14%	171 者	17%	243 者	14%
合計	345 者		417 者		1,012 者		1,774 者	
再開済・再開意向あり合計(1)+(2)	186 者	54%	153 者	37%	412 者	41%	765 者	43%

注) 各年度値(※1)は初回訪問時の集計結果であり、累積合計(※2)は令和元年12月末において再訪問結果を反映した最新値となる。このため、各年度値の積み上げと累積合計は一致しない。(以下の表においても同様)

2 営農再開済みの課題

① 営農目的

	初回訪問時の集計値						累積合計	
	令和元年		平成30年		平成29年			
	者数	割合	者数	割合	者数	割合	者数	割合
販売目的	125 者	91%	97 者	91%	202 者	93%	469 者	91%
自給目的	12 者	9%	8 者	7%	13 者	6%	42 者	8%
無回答		0%	2 者	2%	3 者	1%	7 者	1%
合計	137 者		107 者		218 者		518 者	

② 課題(1農業者につき最大3つまで回答)

	初回訪問時の集計値						累積合計	
	令和元年		平成30年		平成29年			
	者数	割合	者数	割合	者数	割合	者数	割合
農業機械・施設・家畜・新規作物等の導入	39 者	28%	36 者	34%	91 者	42%	189 者	36%
販路や販売単価の確保	25 者	18%	20 者	19%	42 者	19%	105 者	20%
労働力の確保	19 者	14%	19 者	18%	52 者	24%	92 者	18%
農地の確保	14 者	10%	16 者	15%	40 者	18%	75 者	14%
効率的な生産体制の確立	13 者	9%	13 者	12%	20 者	9%	46 者	9%
資金の確保	6 者	4%	6 者	6%	13 者	6%	27 者	5%
その他	55 者	40%	47 者	44%	96 者	44%	221 者	43%
対象者数	137 者		107 者		218 者		518 者	100%

3 営農再開の意向はあるが未再開の農業者の課題等

① 営農目的別

	初回訪問時の集計値						累積合計	
	令和元年		平成30年		平成29年			
	者数	割合	者数	割合	者数	割合	者数	割合
販売目的	44 者	90%	39 者	85%	163 者	84%	209 者	85%
自給目的	3 者	6%	3 者	7%	23 者	12%	26 者	11%
無回答	2 者	4%	4 者	9%	8 者	4%	12 者	5%
合計	49 者		46 者		194 者		247 者	

② 課題(1農業者につき最大3つまで回答)

	初回訪問時の集計値						累積合計	
	令和元年		平成30年		平成29年			
	者数	割合	者数	割合	者数	割合	者数	割合
野生鳥獣の被害防止対策	7 者	14%	15 者	33%	83 者	43%	92 者	37%
用排水路復旧	8 者	16%	15 者	33%	68 者	35%	79 者	32%
農地・草地除染等	5 者	10%	6 者	13%	38 者	20%	45 者	18%
土づくり、稲わらすき込み、堆肥散布等	7 者	14%	13 者	28%	28 者	14%	37 者	15%
耕起・深耕・整地	4 者	8%	7 者	15%	33 者	17%	35 者	14%
その他	17 者	35%	16 者	35%	52 者	27%	77 者	31%
対象者数	49 者		46 者		194 者		247 者	

4 再開意向のない・未定の農業者の状況

①意向がない、未定の理由(1農業者につき最大3つまで回答)

	初回訪問時の集計値						累積合計	
	令和元年		平成30年		平成29年			
	者数	割合	者数	割合	者数	割合	者数	割合
帰還しない	64 者	40%	113 者	43%	218 者	36%	396 者	39%
高齢化や地域の労働力不足	50 者	31%	84 者	32%	258 者	43%	384 者	38%
機械・施設等の未整備	20 者	13%	54 者	20%	116 者	19%	190 者	19%
農地の確保が困難	10 者	6%	17 者	6%	69 者	12%	97 者	10%
販売先確保が困難(価格低迷、風評等を含む)	4 者	3%	7 者	3%	38 者	6%	47 者	5%
その他	62 者	39%	148 者	56%	317 者	53%	523 者	52%
対象者数	159 者		264 者		600 者		1,009 者	

②被雇用等により農業に従事する意向

	初回訪問時の集計値						累積合計	
	令和元年		平成30年		平成29年			
	者数	割合	者数	割合	者数	割合	者数	割合
従事する	11 者	7%	25 者	9%	67 者	11%	98 者	10%
従事しない	134 者	84%	228 者	86%	515 者	86%	873 者	87%
無回答	14 者	9%	11 者	4%	18 者	3%	38 者	4%
合計	159 者		264 者		600 者		1,009 者	

③草刈りや水路の清掃等の地域共同作業への参加意向

	初回訪問時の集計値						累積合計	
	令和元年		平成30年		平成29年			
	者数	割合	者数	割合	者数	割合	者数	割合
参加する	32 者	20%	70 者	27%	212 者	35%	307 者	30%
参加しない	55 者	35%	79 者	30%	152 者	25%	287 者	28%
参加できない	55 者	35%	104 者	39%	225 者	38%	381 者	38%
無回答	17 者	11%	11 者	4%	11 者	2%	34 者	3%
合計	159 者		264 者		600 者		1,009 者	

④農地の活用意向

	初回訪問時の集計値						累積合計	
	令和元年		平成30年		平成29年			
	者数	割合	者数	割合	者数	割合	者数	割合
出し手となる意向あり	101 者	64%	196 者	74%	443 者	74%	739 者	73%
出し手となる意向なし	14 者	9%	17 者	6%	45 者	8%	72 者	7%
既に出し手となっている	17 者	11%	14 者	5%	48 者	8%	85 者	8%
耕作予定のない農地なし	15 者	9%	25 者	9%	44 者	7%	75 者	7%
無回答	12 者	8%	12 者	5%	20 者	3%	38 者	4%
合計	159 者		264 者		600 者		1,009 者	

5 集落営農への参画意向

	初回訪問時の集計値						累積合計	
	令和元年		平成30年		平成29年			
	者数	割合	者数	割合	者数	割合	者数	割合
既に参画している	51 者	15%	33 者	8%	82 者	8%	167 者	9%
参画意向がある	46 者	13%	58 者	14%	239 者	24%	340 者	19%
参画意向がない	176 者	51%	246 者	59%	466 者	46%	895 者	50%
未定	72 者	21%	80 者	19%	225 者	22%	372 者	21%
合計	345 者		417 者		1,012 者		1,774 者	

【参考】市町村別農業者訪問者数

	令和元年	平成30年	平成29年	合計
田村市 都路	18	16	19	53
南相馬市	63	44	299	406
川俣町 山木屋	14	5	26	45
広野町	9	4	15	28
檜葉町	58	21	77	156
富岡町	23	196	114	333
川内村	13	18	23	54
大熊町	10	9	65	84
葛尾村	40	14	37	91
双葉町	4	14	29	47
浪江町	80	43	219	342
飯館村	7	30	89	126
注)上記12市町村以外	6	3	0	9
合計	345	417	1,012	1,774

※総務省「市町村コード」順

注): 上記12市町村以外の数は、被災12市町村以外からの新規就農者数である。